平成２８年第１０回大仙市教育委員会定例会議事録

平成２８年第１０回大仙市教育委員会定例会を平成２８年１０月１７日（月）午後４時から仙北ふれあい文化センターにおいて開催した。

出席者

教育長　吉　川　正　一
委　員　風　登　森　一
　　鈴　木　直　樹
　　伊　藤　　良
　　竹　原　まゆみ
　　工　藤　浩　一

説明員

教育指導部長	伊　藤　雅　己
教育総務課長	判　田　　基
教育指導課長	佐　藤　英　樹
教育研究所長	佐　藤　厚　子
生涯学習課長	山　崎　文　幸
文化財保護課長	細　川　良　隆
スポーツ振興課長	伊　藤　優　俊
学校給食総合センター所長	杉　山　光　行
総合図書館長	高　見　正　信
総合市民会館長	今　井　　聰
花館公民館長	寺　村　彰　浩
神岡中央公民館長	黒　川　　博
西仙北中央公民館長	小山田　幸　哉
中仙公民館長	草　薙　栄　良
協和公民館長	佐々木　　稔
南外公民館長	今　野　徳　吉
仙北公民館長	加　藤　　実
太田公民館長	煤　賀　康　典

書記

教育総務課参事　田　口　広　龍

吉川教育長

委員の皆様、先ほどの高梨神社、払田分家庭園の視察、お疲れさまでした。

本日の定例会は、委員の皆様、全員御出席です。書記に田口参事を指名いたします。

ただいまから、平成２８年第１０回大仙市教育委員会定例会を開催いたします。

前回定例会の議事録は、ただいま、委員の皆様からの署名をもって、承認していただきました。

本日の定例会は、報告のみとなっております。よろしくお願いいたします。早速、教育長報告に入らせていただきます。資料の１ページを御覧ください。

まず、学校教育の教育活動関係でありますが、１０月は大きな研究大会が二つございます。一つは１０月２３日に大曲小学校を会場に開かれる第３２回小学校算数教育全国大会で、全国から約５００名の関係者の出席が予定されています。普段なかなか参観できない大学の先生による授業もあり、算数・数学の教育関係者にとって貴重な学びの場となることを期待しているところです。また、２６日には、太田東小学校・太田中学校を会場に秋田県外国語・外国語活動研究大会が開催されます。中学校でのオールイングリッシュによる授業や小学校の教科としての英語導入を前にした外国語活動の授業が公開されると思います。委員の皆様もお時間がございましたら、御参観くだされば と思います。

１０月２０日には、こころのプロジェクト「夢の教室」の音楽バージョンが和ピアを会場に開かれます。また、翌２１日には仙北中学校を会場に避難所開設訓練が、２４日には中仙のドンパルで平和祈念フォーラムも開かれます。こちらの方も是非御覧いただければと思います。

なお、今年の全県花だんコンクールでは資料にございますように、県緑化推進委員会会長賞の神岡小学校、県花いっぱい運動の会会長賞の平和中学校をはじめ、多くの学校が賞をいただくことになったとの報告を受けております。

研修等関係では、１１日に大仙市社会福祉大会がございまして、そこで東京大学高齢化社会総合研究機構の後藤先生の講話がございました。超高齢化社会においてのキーワードは「社会性」で、高齢者がまず外に出ることが健康維持につながる、そして、そのためのちょっとした居場所づくりが大切ということで、高齢者１，０００人に１か所はそういう場所が必要との話がありました。これからの生涯学習や公民館の有り様を考えさせられました。

また、明日から３日間、市議会の教育福祉常任委員の議員の皆様と県外視察に行ってまいります。京都府城陽市での待機児童解消の取組状況や滋賀県草津市のＩＣＴ教育の推進状況などについて研修予定です。草津市のＩＣＴ教育は、全小・中学校へのタブレットＰＣの設置やＩＣＴ支援員の配置、デジタル教科書の整備など先進的な取組をしているところで、今後の大仙市のＩＣＴ教育充実の参考にしたいと思っております。

県外視察関係では、今月は議員の皆様の視察が多くなっていますが、銀座や八重洲、築地などのある東京都中央区からは教育長や教育委員の皆様が２４日と２５日に訪問される予定で、大仙教育メソッドなどに興味があるようです。

次に社会教育関係でありますが、１０月２日に国民文化祭・囲碁サミット継承事業としての「大仙市子ども囲碁大会」がここ仙北ふれあい文化センターで開かれ、豆棋士たちが

力量に合わせて対局しておりました。その際、市長もお出でになり、市民の方と対局するなど和やかな雰囲気で大会が行われております。

また、８日には、これも国民文化祭継承事業としての「伝統文化ＭＩＲＡＩステージ」が大曲市民会館で行われ、和太鼓やオーケストラの演奏、書道パフォーマンス、郷土芸能など、若者による幅広い伝統芸能や芸術の発表が披露されました。

さらに、資料にはございませんが、今月は大仙市の「秋の稔りフェア」など、各地域で秋のイベントが目白押しで、ふるさと博士のスタンプがたくさん押されることを期待しているところです。

また、１０月２０日に福島市で開かれる東北地区公民館大会の開会式において、本市の山崎課長が「優良職員」として「全国公民館連合会表彰」を受けられますので、皆様に御報告させていただきます。長年の公民館職員、社会教育職員としての功労が認められたものだと思います。東北からは３名ということであります。本当におめでとうございます。

次に文化財等関係でありますが、１０月７日には、第３回目となる「荒川の鉱山誌」発掘プロジェクトが協和の大盛館及び鉱山跡地で開催され、中世にまで遡るかもしれない荒川鉱山等の歴史について、秋田大学の今井鉱業博物館長による講演と現地見学会が行われました。

また、１５日には、「法隆寺管長が語る日本人の心」と題して、法隆寺の大野管長様の特別講演や東京芸術大学の有賀教授の講演が大曲市民会館小ホールで行われ、鈴木空如の画業についても興味深いお話を聞くことができました。ちなみに、１０月７日から１６日まで太田文化プラザで鈴木空如の法隆寺金堂壁画模写１２点が公開されております。遠く関東方面からお出でになる方もいらっしゃるようです。

社会体育関係については、１０月５日に「ねんりんピック秋田２０１７グラウンド・ゴルフ交流大会」のリハーサル大会が太田奥羽グラウンドゴルフ場で開催され、来年の本番の大会に神岡地区と太田地区を含む５団体の出場が推薦されております。

また、オリンピックマラソン出場の佐々木悟選手とカナディアンカヌー出場の佐々木将汰・翼選手にそれぞれ大仙市民賞が贈られております。

最後に、安全・安心面ですが、特に大きな事故等はありませんでした。

ここで、私から御紹介したいことが一つございます。三浦前教育長が１０月１４日、文部科学省講堂において、平成２８年度地方教育行政功労者表彰ということで文部科学大臣表彰を受けております。皆様にお知らせする次第です。私からは、以上でございます。

次に、各課・所・館から事務事業・行事報告をしていただきます。教育総務課長、お願いします。

教育総務課長

教育総務課は、２項目記載しております。本日の定例会をはじめ、定例的な会議となっております。以上です。

吉川教育長

次に、教育指導課長、お願いします。

教育指導課長
　教育指導課は、１３項目記載しております。前期終業式、秋季休業を終えまして、学校は後期が始まっております。その他、記載しているところについては、吉川教育長の報告にありましたので、割愛させていただきます。いずれ、視察や研究会があるということで、稔りのある充実した秋となっております。以上でございます。

吉川教育長
　次に、生涯学習課長、お願いします。

生涯学習課長
　生涯学習課では、１４項目挙げさせていただいております。２番の「子育て講座」は、来年度、新しく小学校に入る子供たちの保護者を対象に家庭教育として子育て講座を開設しております。大曲地域では全部で８回、３００人の保護者を対象として今週も４回程実施する予定です。また、それぞれ各地域でも同様の事業が行われております。５番の子ども写真コンテストですけれども、昨年に引き続き実施しましたところ、８５点の応募がございました。大曲交流センターでの展示は１６日で終了いたしましたが、本日から大曲図書館の市民サロン・展示室において、現在開催しております木村伊兵衛展と合わせて展示します。一度、御覧いただければと思います。次に、１１番の「秋の稔りフェア」についてです。これまで、教育委員会では大きく関わってきておりませんでしたが、今年からは文化部門を担当するようにということで、会場を南街区ヒカリオに移して、生涯学習課、まちづくり課の担当として二日間ステージイベントを開催します。よろしければ、足を運んでいただければと思います。以上でございます。

吉川教育長
　ありがとうございました。既に広報等で「秋の稔りフェア」については、御承知かと思います。今年は、市役所前からヒカリオに会場を変更して開催いたします。
　次に、文化財保護課長、お願いします。

文化財保護課長
　文化財保護課では１１項目となっておりますけれども、５番目の「全国史跡整備市町村協議会総会・研修会」が１０月５日に開かれました。この総会において、本市の栗林市長が監事に選任されております。この協議会は、国の指定史跡等を有する市町村で構成される団体でありまして、構成自治体数は５００を超えます。次に、７番の「旧池田氏庭園秋の一般公開」についてです。今年も始めさせていただいております。紅葉については、今日辺りから少しずつ色がつき始めてきておりますので、１１月６日までの開催期間中、是非、お出でいただきたいと思っております。なお、１０月３０日には、いろいろな行事でお客様をお迎えしたいと思っております。それから、教育長のお話にもございました鈴木空如の関係ですが、空如展には１０日間で１，３５１人の方々からお出でいただきました。一昨日、「法隆寺管長の特別講演」が行われましたが、来場者４５０人ということで、大曲中央公民館の小ホールが満席となりました。なお、今回の鈴木空如展に当たり、日本の

代表する有賀先生はもちろんですが、東野治之さんという古代史の専門家、東大寺ミュージアムの梶谷館長、あるいは奈良県庁の方々も見学に来たということで、いよいよ全国的に知られてきたのかなと感じております。以上であります。

吉川教育長
　はい、ありがとうございました。次に、スポーツ振興課長、お願いします。

スポーツ振興課長
　スポーツ振興課は、５項目です。「日本リトルシニア秋季新人東北大会」についてです。これは、東北連盟に加盟している５３チーム全てが参加する大会となっておりまして、選手、保護者や関係者、約３，０００名が訪れます。本市が８会場、横手市が５会場、美郷町１会場ということで、１４会場を利用して開催される大会です。非常に宿泊施設も潤うということから、スポーツ合宿等推進交流事業に取り込みまして、毎年本市で開催していただきたいと東北連盟に働きかけているところでございます。二つ目の「第３回秋田２５市町村対抗駅伝大会」でございますが、昨年の１６位から二つ順位を上げまして１４位という結果になっております。以上です。

吉川教育長
　次に、学校給食総合センター所長、お願いします。

学校給食総合センター所長
　学校給食総合センターでは、４項目記載しております。その中で、１０月２６日にフォーシーズンで行われます大仙市学校給食協会公益事業の一つ、「衛生管理講演会」について、御紹介させていただきます。これは、大仙市学校給食協会が毎年、冬場の感染症の流行期に入る前に医師や保健所職員を講師として衛生管理講習会を開催しているものです。今年は、大曲農業高校の大沼先生を講師に、「食の安全と食中毒の予防について」と題して講演していただく予定です。講演会は給食協会の職員、ＰＴＡ、一般市民を対象としておりますので、興味のある方は御参加いただければと思います。以上です。

吉川教育長
　次に、総合図書館長、お願いします。

総合図書館長
　総合図書館は、１０項目でございます。市内の小学校の児童が、「生活科フィールドワーク」ということで来館しております。４日には東大曲小学校の２年生１７名が来館しまして、図書館見学をはじめ、図書を検索して実際に借りる体験をしております。３１日には、藤木小学校の２年生が来館する予定です。以上でございます。

吉川教育長
　次に、総合市民会館長、お願いします。

総合市民会館長
　総合市民会館は、２項目記載のとおりです。

吉川教育長
　次に、花館公民館長、お願いいたします。

花館公民館長
　花館公民館は、１０項目記載しております。１０月１日に「姫神公園環境整備事業」ということで、大山桜を植樹いたしました。毎年、この時期に花館小学校３年生を対象に開催しているものです。平成２１年から植樹を開始しておりまして、現在では２１２本の桜が植えられております。以上です。

吉川教育長
　次に、神岡中央公民館長、お願いします。

神岡中央公民館長
　神岡中央公民館は、１１項目記載しております。この中から「神岡地域文化祭」について、御報告いたします。一昨日と昨日の二日間、開催いたしました。例年であれば、文化展、ステージ発表で終わるところですが、今年は地域活性化推進室で作成した全国５００歳野球大会ＰＲ用ＤＶＤ試写会イベントを併せて行いました。内容としましては、神岡地域の５００歳野球チームの４チームによるトークセッション、今年活躍しました神岡野球スポーツ少年団と平和中野球部の栄光の軌跡についての報告会を行いまして、メインイベントとしてＤＶＤの試写会を行いました。最後に、来場者全員で「お待ちしてまーす」というメッセージ撮影を行い、これをＤＶＤの最後にするというイベントでございました。司会をＦＭはなびのアナウンサーから担当していただきまして、盛況に終わりました。２５０名ほどの来場者がございました。２日間とも他の地域の秋のイベントと重なってしまいましたけれども、大変天候にも恵まれまして、２日間で２，３００名程の来場者がございました。以上で報告を終わります。

吉川教育長
　次に、西仙北中央公民館長、お願いします。

西仙北中央公民館長
　西仙北中央公民館は、１１項目記載しております。その中で、今年で３回目となりました「５００歳野球交流大会」についてですが、西仙北地域にあります５チームが紅白に分かれまして、９時から２時までの５時間、マラソン野球ということで交流を深めております。参加者数は、７８名でございました。試合は、４８対３２で白組が勝ちました。それから、２８回目となります「西仙北黒森山健康マラソン」ですが、２キロ、３キロ、７キ

ロの部門に小学生から一般の方々までの４６名が参加いたしまして、心地よい汗をかいていただきました。以上です。

吉川教育長
　次に、中仙公民館長、お願いします。

中仙公民館長
　中仙公民館は、１８項目挙げさせていただきました。その中で１０月２９日、３０日に開催されます「なかせん芸術文化祭」について御紹介いたします。今年度から、ドンパルのステージを利用して各小学校で学習している地域の伝統芸能の発表の機会を設けたらどうかといったお話がございまして、今年度は豊川小学校の３年生と４年生２６人による円満造甚句を披露していただくことに決定いたしました。併せて、中仙中学校吹奏楽部の出演も決定しております。以上でございます。

吉川教育長
　次に、協和公民館長、お願いします。

協和公民館長
　協和公民館は、６項目記載しております。その中で、１０月７日に開催されました「秋田県鉱山資料館等連絡協議会総会」についてです。これは、県内で鉱山資料館などを管理運営している市町村が集まりまして、その関係者の協議会であります。今年度は大仙市協和が当番ということで、大盛館で行いました。この日は、平福穂庵が描いた荒川鉱山の絵図が５５年振りに一般公開されたということで、来場された皆様が興奮されて見ていらっしゃいました。それから、１０月１５日の「きょうわ祭」において、リオオリンピックに出場された佐々木兄弟に大仙市民賞が贈られました。以上です。

吉川教育長
　次に、南外公民館長、お願いします。

南外公民館長
　南外公民館は、４項目挙げております。１０月９日、南外中学校祭の終了後、リオオリンピックマラソン日本代表佐々木悟選手に大仙市民賞を贈り、その後、オリンピックの報告会を開催しております。その中で、佐々木選手は、来年の世界陸上出場を目指して頑張りたいとおっしゃっていました。また、地域の皆様からたくさんの寄附をいただきました。その残金につきましては、大曲仙北中学校田沢湖駅伝競走大会の男女の種目別にそれぞれ優勝杯を寄贈し、その購入費に充てさせていただきました。中体連の事務局を大曲中学校が担当している関係から学校内に優勝杯が展示されていますので、機会がありましたら御覧になってください。以上です。

吉川教育長

私も拝見させていただきましたが、非常に立派なもので５００歳野球の内閣総理大臣杯よりも大きいような気がします。素晴らしい「佐々木悟杯」でした。中学生も駅伝を頑張ってくれることと思います。
次に、仙北公民館長、お願いします。

仙北公民館長
まずもって、移動教育委員会定例会として当館にお越しくださいまして、誠にありがとうございます。心から歓迎と感謝を申し上げたいと思います。
仙北公民館は、１３項目でございます。このうち、「史跡の里の秋まつり」と「自衛隊コンサート」についてです。昨日、おとといと２日間にわたって、この建物周辺で秋まつりを行ったところです。天候にも恵まれまして多くの皆様に来場いただきました。「自衛隊コンサート」を初日に開催しましたが、これはふれ文の自主事業でありまして８００席用意しましたが、ほぼ満員となって多くの人に喜んでいただきました。以上です。

吉川教育長
はい、ありがとうございました。最後に、太田公民館長、お願いします。

太田公民館長
太田公民館は、１１項目でございます。この中で、１０月８日に行われました「第１８回奥羽太田ロードレース大会」についてです。小学生から一般まで合わせて３３８人のエントリーがありまして、あいにくの雨の中での大会となりましたが、出走者は全員完走し、大会を無事終えております。以上です。

吉川教育長
はい、ありがとうございました。以上、各課・所・館から事務事業・行事報告をしていただきました。ただいまの報告につきまして、委員の皆様から御質問等ございましたら、お願いいたします。

鈴木委員
まず、今日は高梨神社という素晴らしいものを見学させていただき、ありがとうございました。普段、何気なく過ごしていると気づかない素晴らしいものが地元にあるんだということで、もう少し周ってみようかと思う程、素晴らしいものでした。
質問といいますか意見になると思いますが、この間、グラウンド・ゴルフを町内会で行いました。そのときに袋に入っているクラブとボールが色ごとにきちんと入っていなくて、苦労しながらもプレーしたんですが、そうした備品は公民館であったり、別の施設であったり様々であったりすると思うんですが、せっかくですので、返却する際に利用者にしっかり指導していただければ、面倒なくプレーできるんじゃないかと思います。また、会社を経営していてイベントなんかもよくやるんですが、あちこちからテント、照明、机、椅子などを借りたりするんですが、どこにどういった備品があってどのくらい借りられるのかといったことが分からないんです。地域によって、様々な団体が様々な備品を所有して

いると思うんですが、教育委員会とか公的なところが、一括してそうしたものを管理していくことはできないものかと思いました。大仙市全体で、何があって何が借りられるといったことが分かると借りやすいと思いますので、提言として申し上げたいと思います。

吉川教育長
　各公民館では、グラウンド･ゴルフ用具とか貸出しできるようになっているんですか。各公民館では、こういう備品が貸出し可能といった周知はされているものですか。

生涯学習課長
　生涯学習施設におきましては､自分たちの館にあるものは利用者に貸出ししております。支所が管理しているものについても、広報等で貸出しの周知はしております。ただ、全市的なリストといったまとめたものは無いと思います。御指摘のようなことを考えると、近隣の分まで情報提供する必要があるのかなと考えますので、これから検討して対処していきたいと思います。

鈴木委員
　会社でありますと、決算の際、棚卸しをやるんですけど、行政は忙しい時期だと思いますので、なるべく空いている時間を利用してデータベースを作って、オープンにしていただければいいのではないのかなと思った次第でした。

吉川教育長
　教育委員会所管のものばかりではないかもしれませんので、難しい面があるかもしれません。

生涯学習課長
　テントですと、教育委員会と支所がほとんどだと思います。それぞれが管理していますので、横の連携といった面ではちょっと弱かったかもしれません。関係機関と連携を取ってみたいと思います。

吉川教育長
　そうですね。教育委員会だけではといった面があるかもしれません。いずれ、鈴木委員がおっしゃったように、サービスの上でもホームページなどで周知できればいいのかもしれません。体育館にも、いろいろ常備しているものがありますか。

スポーツ振興課長
　はい、あります。私どもも年に何回か大きなイベントを行いますが、自分たちが所有しているものはほとんど無くあちこちから借りている状況ですので、そうしたリストがありますと大変助かります。

吉川教育長

前向きに関係機関と連携してみてください。ありがとうございました。
ほかにございませんか。

伊藤委員
今のお話に関連するんですけれども、先ほどの教育長報告の大仙市社会福祉大会の下りで、１，０００人に１か所は高齢者の居場所が必要で、それには公民館がいいんじゃないかという講話があったということですが、私も以前、ふれ文で高齢者の社会福祉関係のフォーラムをやったことがあるんです。大学の教授とかに来ていただいて、パネルディスカッションをやったんですね。あのときも公民館をどう利用していくかという話になりました。今もそういう話になったようですが、いつも思うんですけれども、支所の中で横のつながりがうまくいかない例があるように思います。今のお話を聞いていて、似たようなお仕事をされている高齢者福祉と公民館とかが連携が取れていないことがあると思います。そうした連携が取れないものかなと思います。

吉川教育長
この大会は、健康福祉部が主催したものです。公民館とかの施設の活用の仕方を超高齢化社会においてどうするかといったときに、居場所づくりといったお話があったということであります。これから新しい市を作っていく上で、市でもプロジェクトを立ち上げておりますので、その中に私も含めて関係者が入っておりますが、こうした点も入ってくるのかなと思います。ありがとうございます。
ほかにございませんか。

竹原委員
今日の研修で高梨神社を見せていただきました。初めて見たんですが、集落の神社としては本当に立派で宮大工の彫刻とか素晴らしかったです。説明された方もお話しされていましたが、県の指定になった方がいいのかなと思いました。

吉川教育長
今後の保存方法について、文化財保護課長いかがですか。

文化財保護課長
指定するかどうかについては文化財保護審議会の先生方が判断されますけれども、その判断の基となるのは市民からの情報、あるいは事務局の調査資料となります。確かに、高梨神社は大仙市の指定ですが、ちょうど今年で建立されて１００年ということもありまして、時代的にも一歩上に行く時期なのかなと私どもも考えております。髙橋円満造作のものがこの近くに点在しておりますので、単体としてではなく円満造が残した足跡とか、あるいは実質的に池田家が建立した神社ですし、そうした史料的価値も非常に高いと思いますので、この後、専門の先生方から見ていただき、更に上の指定を目指して調査を進めていきたいと思います。なお、県内で近代社寺建築の調査が再度始まろうとしています。これまで、明治以降の建物の和風建造物の調査は一般に行われましたが、社寺建造物につい

てももう一度といった話が出てきておりますので、その際には最優先に調査をお願いしたいと思います。

吉川教育長
　いずれ、単体としては厳しいかもしれませんが、池田家との関わりや円満造の作群としてといったようなやり方によっては、可能性が広がるような気がします。高梨神社だけでなく、それぞれの地域に素晴らしい文化財がありますので、大きな課題かなと思います。
　ほかにございませんか。

各委員（なし）

吉川教育長
　よろしいでしょうか。それでは、これで教育長報告を終わらせていただきます。
　次第の４番その他に入らせていただきます。
　教育研究所長から「平成２８年度全国学力・学習状況調査」と「平成２８年度公開授業研究会等」について、報告をお願いします。

教育研究所長
　資料ナンバー１を御覧ください。今年度の全国学力・学習状況調査の結果が、９月２９日午後５時に文部科学省から公表されましたので、皆様に調査結果等について説明いたします。
　本調査は、４月１９日に小学校６年と中学校３年を対象に、小学校は国語・算数、中学校は国語・数学の２教科で実施されたものであります。
　本調査の実施内容につきましては、児童生徒に対する「教科に関する調査」に加え、「生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査」の２種類となっております。質問紙調査は、児童生徒が回答する調査と、学校の管理職等が指導方法や学習指導全般に関する整備状況等について回答する調査の２種類があります。
　全国及び本県との比較における本市の状況は、「教科に関する調査」及び「生活習慣や学習環境に関する質問紙調査」のいずれの結果からも、小・中学校共に良好な状況が維持されているものと捉えております。
　はじめに、「教科に関する調査」についてであります。資料内のグラフを御覧ください。グラフの３本の柱は、左が大仙市、中が秋田県、右が全国の正答率を示しております。
　小・中学校共に、ほとんどの教科において全国及び本県の平均正答率を上回っており、中学校数学Ａが、本県の平均正答率を若干下回りますが、ほぼ同程度であることから、概ね良好な状況にあると捉えております。特に小・中共に２教科いずれも、活用に関するＢ問題は良好な状況が維持されております。
　このことにつきましては、小・中連携による９年間を見通した学習指導の充実を図るとともに、各学校における組織的な研究体制の下、児童生徒主体の学習が一層進められていることが、基盤になっていると捉えております。

また、各学校においては、個に応じた指導等により基礎学力の定着を図るとともに、根拠を基に自分の考えを述べたり、学び合い等で自分の考えを深めたりしながら活用する力を育成するための授業改善を積極的に進めていることも成果として挙げられます。

次に、資料２ページを御覧ください。「生活習慣・学習環境に関する調査」についてであります。

児童質問紙の結果からは、小・中学校共に、ほとんどの質問項目において全国及び本県の平均を上回っており、本市の児童生徒は、望ましい生活環境の中で基本的生活習慣及び学習習慣を確立し、意欲的に学習に取り組むことができております。

また、各学校では、学校生活の中で、達成感や自己有用感をもたせる機会と場の充実を図ることで、学ぶ意欲を育むとともに、地域人材の活用等、開かれた学校づくりを積極的に進めていることも成果として挙げられます。併せて、家庭や地域が、好ましい関わりをもって児童生徒の成長を支え、学校の方針等に建設的な協力をしてくださっていることも本市の強みであります。

資料２ページの中段のグラフを御覧ください。質問について、「当てはまる」又は「どちらかといえば当てはまる」と回答した大仙市の割合を本県及び全国との差で表したものであります。

ほとんどの項目について、小・中学校共に良好な状況が維持されているものと捉えておりますが、一部、小学生の起床時刻、家や図書館での読書時間、図書館の利用、中学生の朝食の摂取等の生活習慣についての回答が本県又は全国をやや下回っており、課題と捉えております。

資料２ページ下段のグラフは、現在中学校３年生が平成２５年度に小学校６年生として本調査の質問紙に回答した項目のうち、向上が見られるものを表しております。特徴としては、家庭学習や読書の時間を以前より確保するなど、家庭における時間を有効に活用しようとする傾向が顕著に見られます。また、生徒主体の授業や活用する力の育成に関わる授業の取組状況で伸びが見られること、更に地域や社会で起こっている問題や出来事への関心が高まっていることなどから、中学校における授業改善への積極的な取組とともに、地域活性化に寄与できる生徒の育成が進められていることなどが伺えます。

次に、資料３ページ中段のグラフを御覧ください。続いて、学校質問紙の回答状況について御説明いたします。

学習指導、生き方に関わる指導、研修、本調査の結果分析を当該学年のみならず学校全体で授業改善や学力向上に役立てていること等については、小・中学校共に全国及び本県平均を上回っている質問項目が多く、学校の積極的な取組及びその姿勢が伺えます。さらには、近隣の小・中学校との分析結果の共有や研修も進んでおり、小・中学校の望ましい連携も図られております。

「学力向上の取組を保護者へ公表」、「地域人材・地域素材・地域の施設の活用」に関しても、小・中学校共に全国及び本県の平均を上回っており、開かれた学校づくりが引き続き積極的に進められております。

今後は、本調査結果の更なる分析を進めるとともに、校長会及び教頭会において、成果と課題などについて検証し、授業改善に結び付くサイクルを確立できるよう丁寧に説明してまいります。また、児童生徒一人一人の課題の改善状況を点検するフォローアップシー

トや指導方法の改善に生かす資料等を今後も提示し、基礎・基本の更なる定着を図るとともに、小・中９年間を見通した学習指導、生き方に関わる指導を一層充実させ、幼保・高・大との連携も積極的に推進し、「総合的な学力」を身に付けた児童生徒の育成を目指して各学校の取組を引き続き支援してまいります。

全国学力・学習状況調査につきましては、これで説明を終わります。

引き続きまして、「平成２８年度公開授業研究会」等につきまして、御案内いたします。資料ナンバー２を御覧ください。

本年１０月・１１月に開催されます公開授業研究会等の日程をお示ししております。

関係の皆様には多数御参加いただき、御指導賜りたく、御案内申し上げます。

申し込み手続等はこちらで行いますので、参加を希望なさる方は、教育研究所まで御連絡くださいますようお願いいたします。以上でございます。

吉川教育長

はい、ありがとうございました。概要は前回、報告させていただきましたが、今回、質問紙の方も主なところを説明させていただきました。

ただいまの説明につきまして、御質問等ございましたらお願いします。

伊藤委員

児童生徒の質問紙の生活習慣の中に「毎日、同じ時刻に起きている」という項目があって本市の場合低くなっていますが、ということは毎日同じ時刻に起きる人が多くないということですね。教育上、児童生徒に毎日同じ時刻に起きるようにという指導をされているものでしょうか。あるいは、文科省でそういったことを指導されているものでしょうか。

教育研究所長

規則正しい生活をしましょうということの中の一つの質問事項でございます。大体は同じ時刻に起きて同じリズムで生活すると、いろいろな体のリズムが整ってくるということで捉えています。

伊藤委員

そうですか。私は実を言うと、これには大反対なんです。毎日、同じ時刻に起きるようだとおそらく学習能力が落ちていくだろうと思います。例えば、６月２２日と１２月２２日を比較すると、１２月２２日の朝７時は暗いんですよ。６月２２日であれば午前３時３０分頃、明るくなります。私は小さい頃から「太陽と一緒に寝て、太陽と一緒に起きる」ということが一番いいだろうと思っています。植物は、太陽とともに生きています。我々も生き物ですので、太陽のリズムに合わせて生きていくのがベストだろうと思っています。ですから、私の場合、季節によって起床時間が異なりますし、そうしますと体調が非常にいいです。私は、起床時刻を１年中同じにしてはいけないと思っています。ですから、このグラフの「毎日、同じ時刻に起きている」といった項目の率が低いことは、むしろ良かったなと思っているんです。

吉川教育長
　規則正しい生活を送りましょうという中での調査だったと思います。伊藤委員からは、専門家の立場として提言をいただきました。あまり気にしなくていいのかなとも思いますが、ただ、夜更かしして睡眠不足の状態で授業を受けるのもいかがなものかという感じがいたします。ありがとうございました。
　ほかにございませんか。

各委員(なし)

吉川教育長
　公開研究会についてですが、前にもお話しましたが、特に国立教育政策研究所の四つの研究会が一つの市町村で行われるというのは、研究所始まって以来だと言われました。同じ市町村で三つ以上というのはないだろうと、しかも四つです。全国でも数校しか選ばれないんです。いかに、すごいことかお分かりいただけると思います。授業だけでも、御覧いただければと思います。教育研究所の方にお申し込みいただければと思います。
　ほかになければ、１１月の定例会について教育総務課長、お願いします。

教育総務課長
　１１月の定例会の日程についてです。１１月２５日金曜日の午後３時から大曲図書館で行いたいと思います。よろしく御協議の程、お願いいたします。

吉川教育長
　次回の定例会は、１１月２５日金曜日の午後３時から大曲図書館で行いたいということであります。皆様、いかがでしょうか。

各委員（異議なし）

吉川教育長
　では、次回の定例会は、そのようにさせていただきます。
　本日の日程は、全て終了いたしました。以上で、定例会を閉じさせていただきます。
　ありがとうございました。